

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念を基盤として、事業計画を作成し「いつも あふれる 笑顔を」をホームの目標にあげ地域に根ずき生活拠点として明るい雰囲気の中でお互いを尊重し安心出来る優しい暖かい暮らしを送れるよう支援する、又利用者様が安心してその人らしい生活が続けられるよう、法人・併設施設・家族・職員・地域住民と共に支えて居ます。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人全体の理念は、掲示して、常に利用者様一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを確保し、その人なりを尊厳し否定せず一人ひとりの個性を尊重し実践に向けて取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を明文化しわかりやすいよう工夫し地域の方々、御家族の理解が得られるよう目のつきやすいところに掲げ浸透に向けて取り組んでいます。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域のボランティア様から、毎月折り紙等飾って下さったり近隣の方より手作りの作品等いただいています、又近隣にある歌声喫茶にも出向いています、利用者様の誕生日のプレゼント購入、ケーキも配達して来て下さいます。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設する特養と合同で各祭りや敬老会には、地域の住民・ボランティア・御家族・子供達の多数の参加が見られ、又日頃は近隣の商店に出かけ買物、歌声喫茶等、地域の人々と交流の場を設けています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>介護に関する相談や申請代行手続き、見学等すべてに協力受け入れをしている。又日頃から商店等買い物に出かけています、近所の公共施設にもお世話になり、地元の夏祭り等に参加させてもらっています。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価作成に際して、管理者、職員が協力し作成する事により意義及び理解を確認している、又前回の確認出来た課題に対しては、サービスの向上、具体的な改善に取り組んでいます。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、地域包括支援センター職員、地域住民、家族、議案によっては看護師、ボランティアの参加のもとにより、概ね2ヶ月に1回開催しホームで開催される地域高齢者向け勉強会の取組み等説明し地域で開催される催しなど意見交換し、サービス向上に生かしている。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者及び地域包括支援センターとは、常に相談や情報交換を行っており、サービスの質向上に日々研さへと取り組んでいます。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>併設施設、地域包括支援センターとも協力体制があり学習する機会を持ち必要な人には、活用できるよう支援している。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>併設施設の勉強会などに積極的に参加し学ぶ機会を持ち防止に努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時等において解らない事や、ご不明な点があればすぐに相談も受け付けており、又解約する場合は、適切な病院、施設への入所がスムーズに行くよう援助している。		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に従い説明し掲示板にして提示し回覧出来るようにしている、又サービス会議への御家族様の出席依頼し意見を延べていただき反映しています。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の日常については、面会時及び必要の都度御家族様に担当職員、ケアマネジャーが報告しています、金銭管理については、立替制度を取っています、健康状態については、特変時等即報告を入れています。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に従い説明し掲示し回覧できるようにしている又、意見、不満、苦情に対しては、御意見箱を設置し反映させている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時職員間で業務の改善すべき問題点やサービスの質の向上に向けた話し合いを会議等において機会を設け行っている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前に勤務希望の聞き取りを行ない要望に対し柔軟に対応できるよう必要時に職員を確保する為、勤務調整に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当職は、設けているが職員の移動、離職、休暇等、に利用者様へのサービス、ケアの低下を防ぐため利用者のかかわりは、全職員で行ない利用者様個人のケース記録、伝言帳利用者様個々の連絡ノートにより利用者への不安を取り除くよう努めています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、段階に応じ法人内、外の研修等を積極的に行ないサービスの質の向上に取り組む今回3名資格取得ができた。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	併設施設や地域包括支援センターを通し連絡調整会議や地域ケア会議等で情報交換をしサービスの質の向上をさせていく取り組みをしています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的に職員と意思疎通を図り、随時、相談、助言、出来る環境づくりに努めています、又年数回ヒヤリングを個別に行なっている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格習得時、誕生日には、祝金など提供し向上心、目標へと向けられるよう支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族様に職員にお世話になっているという気持を持たせず、御家族様と一緒に課題解決に向うこと、又達成すれば共に喜びとする関係構築している。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本氏様、御家族に対してのちょっとした気持、感謝の言葉が聞けた時等、御家族様に伝え御家族様と本氏様の意志疎通を図りよりよい関係作りに努めています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お手紙支援、又お電話をする等昔懐かしい場所があれば機会を作り訪れる支援をしています。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い利用者には、関係継続できるよう支援すると同時に他の利用者ともよい関係を作り孤立する方がいないよう配慮しています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所、入院等の関係で施設との契約が終了しても相談事には、随時対応し又、暑中見舞いや年賀状も届いており、気安くつきあいをできる関係を保っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常一緒に過ごさせていただいている中で、何気ない話しながら、本氏の思いや要望、希望を掴み支援につなげています。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様、本氏様から、これまでの暮らしてこられた経緯を聞き取り、把握しています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様個人ケース記録、利用者様個々の連絡ノートに記録し全職員が各利用者様の暮らしの現状を把握しケアサービスが出来る様各記録には、確認印を押し印し確実にするよう、徹底しています。		
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、御家族様からの要望、希望、課題をあげ全職員、ケアマネジャーは必要な関係者と会議を持ち、本氏にとってより良い方法で反映したり、介護計画を作成しています。		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に沿ったケアが提供されているか、介護計画が現状に即しているか月4回のモニタリングを行ない、新たに課題が生じた時は即、会議を持ち見直しをしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態変化を利用者様個々の連絡ノート、伝言帳、個別ケース記録等により気づき、結果を踏まえケア実施をして介護計画の見直しに生かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設の行事にも参加出来ています、法話会、夏祭り、クリスマス会、ファミリー祭り、各種団体の慰問等、多種の催しを楽しまれる機会を設け支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	同敷地内には、併設施設があり協力体制のもと、ボランティア地域等の協力を働きかけ施設への理解協力を呼び掛け支援している。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、御家族様の要望等、現在はないが難問に接した時、併設施設のケアマネジャー及びサービス事業担当者に相談及び連絡調整の支援を行っている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	併設施設の地域包括支援センターの職員参加での運営推進会議及び担当者との話し合い等協働しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設施設には、診療所があり、同系列法人医療病院より毎週医師が来られ定期受信の実施及び病院との連携があり、夜間や急変事時においても利用者様に適切な医療を受けられるよう支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医が月2回来られ職員が相談したり利用者の定期受診等、又同系列法人の多様な医療、病院との連携もあり利用者様の継続的な支援につながっています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設施設の診療所、看護師と連携し日々相談などし支援をうけている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	同系列法人医療機関との連携を持ち早期退院に向けた話し合いを持ち安心して過ごせるよう努めています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点では、該当される方はおられませんが、重度化への対応、終末期の方への支援については、併設施設の診療所、同系列法人医療機関、職員間で話し合い、方針を共有している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期の利用者については、併設施設、同系列病院とのチームとしての支援をし変化に応じて入所、入院等検討し終末期に向けた支援をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去時は契約に基づくものとし御家族様に十分に説明をし併設施設の居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとも情報交歓を行ない、施設として御家族様と共に支援する方向である。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は言葉がけには、細心の注意を払い一人ひとりの人格を尊重しプライベートな場所での礼儀をわきまえ、常にプライバシーを損ねることのなきよう、個人情報の保全に努めている。居室訪問時は、ノックをするなど実践しています。誇りを損ねるような対応は厳しく律しています。拒否することなくやさしい言葉掛けをしています、又個人情報流出しないよう徹底している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	緊張感をほぐし自然体で話せる環境整備のもと、思っていること望んでいることを言える信頼関係の構築を目指しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様ペースで生活して頂けるよう利用者様の決まり事はあまり決めず、生活歴を尊重しゆったりとした空間の中生活していただけるよう心掛けています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お気に入りの美容室があれば送迎していただける方もおられますが、ほとんどの方は、訪問美容室にてセット、パーマ、毛染めをされています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設施設の管理栄養士による献立表及び利用者様の好みの献立より職員が調理しています。苦手なメニューの時は、味付けを変えて食べていただく等出来る限り一人ひとりの好みに応じています 又、利用者様の能力に合わせて一緒に買物から、食材切り、盛りつけ、配膳、下膳、食器の片付け等をしていただいています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入浴後、ジュース、コーヒー、御茶等提供し又、お誕生日会、外食会等には、お酒、ビール等状況にあわせ楽しんでいただけるよう支援しています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄のパターンを把握し落ち着いて気持ち良く排泄出来るよう見守りや声掛けをし排泄の失敗をなくすよう支援しています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、毎日実施しています、平均して週3回以上の入浴が出来ており利用者様のペースにして時間を決めずゆったりと入っていただき、背中を流したり洗髪の介助支援をし楽しく入浴していただけるよう支援しています。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の体調に応じ昼食後やその時々状況により休息の促しをしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様ひとり一人の能力を引き出し生きがいとなるよう食材切りの方、布巾たたみ、お洗濯物たたみ、食器片付け等、本氏様の能力に応じお手伝いしていただき、役割を持ち、出来るよろこびを感じていただいています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に立替払い方式を採用しています、又ひとり一人の希望に応じ買物をしています又、買物時にお金を手渡しレジでの精算をお任せしていません、収支については、御家族様が支払うようになっています。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	御家族様との外出は、随時可能であり外泊、外出されています。お天気の良い日は近隣への散歩や日常の買物時等の外出支援を実施しています。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御家族様と水入らずで温泉旅行に行かれる利用者様がおられます、又ご家族様と食事に出かけられる利用者様もおられます。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	何時でも電話をかけていただけるようにしています、又お手紙も一緒に書いたりしています。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族様、知人、友人、親戚の方の面会が頻繁にあります、又自室にて、ゆっくり過ごしていただけるようお茶等でおもてなしし配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守りと介護を中心としており該当する利用者様は、おられませんし施設として、身体拘束をしないケアに取り組んでいる、身体拘束を行った事例はない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は、2階にある為1階の入口はオートロックの鍵をかけていますが、御家族様には暗証番号を伝えており自由に出入り可能です、利用者様には、いつでも外出を希望される方等見守り援助しています。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室訪室時には、居室前にてノックし、声かけしてから入室する等配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	認知症が重度化された方等は、造花、口腔用品等手の届かない目のつかない所には置かないようにしている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット報告書を活用し、常に事故防止について考え、事故に至った場合は、事故報告書に文書にまとめ事故に至った経過を把握し防止につなげています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	御利用者の緊急時の連絡先は、個々のファイルに書き入れており併設施設内には診療所及び協力病院がありいつでも連絡受診してもらえる体制を取っている、又急変時事故発生時の対応についてマニュアル化し初期対応に備えています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルは作成しており、併設施設とも協力体制を取っており避難体制の確保はしている、又地域自治会へ協力依頼の働きかけをしており、備蓄の準備を初めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	同系列法人には、医療病院があり、併設施設には、感染症予防委員会の定期的な委員会及び合同による勉強会なども開催しており各種予防や対応の取り決められたマニュアルも作成し実行している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	前日配達で賞味、消費期限確認の上すぐに冷蔵庫保管し翌日使用し食材によっては、当日の配達もあり安全な食材管理に努めています、毎日、調理器具（布巾、まな板）など消毒処置しています。		
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲の植え込みに花を植え、玄関には可愛い手作り品の木彫りを置き暖かい雰囲気を演出しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間リビングは明るく自然の採光を取り入れる為全面ガラス張りとし廊下、リビングには、季節感のある作品、近隣住民の手作り作品や毎月ボランティア様が手作りの飾り物を持って来て下さり四季の移り変わりも感じられ、側面にはソファを配置しゆったりと過ごして頂けるよう工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファを設置し仲の良い気の合った同志語らえるよう心掛けています、又一人ひとりの居場所として自室（個室）にて過ごしていただいております仲の良い利用者が訪問される事もあります。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 <input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本氏様ที่ใช้馴れたものや好みのものを本氏と家族に相談しながら使用して大切にしていた物等は持ち込まれ置いていただき、居心地よく過ごしていただくよう配慮しています。		
84 <input type="checkbox"/> 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	台所、ダイニング、居室、廊下、トイレ、風呂場には空調設備を完備しており窓には網戸を設置し利用者様の状況に応じて共に換気、空調の調整をこまめに実施している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 <input type="checkbox"/> 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	施設内部は、バリアフリーになっており足元がしっかりしない方の為に廊下に手すりを設置してそれにつかまり自立して歩ける様になっています。トイレ、浴室、居室等にもナースコールや手すりの設置により安全な環境づくりとなっています。		
86 <input type="checkbox"/> わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの能力を生かし日常生活のお手伝いを通して、精神的に安定されるよう支援しています。		
87 <input type="checkbox"/> 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	同敷地内には、併設施設の庭園があり植木、草花が植え込まれており季節を感じていただけ、日常の散歩コースとして四季の風を楽しめる場としています。		

(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ◎ 専門医等の受診支援においては、同系列法人の多様な医療病院との連携があり、利用者の継続的な支援につながっている。
- ◎ 職員、御家族様、利用者様の笑顔が見られること。
- ◎ 御家族様、利用者様に満足をしていただいているという、よろこびをもって日々業務に励んでいます。
- ◎ 利用者様、家族様が、安心して各種サービスが受けられるよう、3法人、各種施設（併設施設）地域住民との協力体勢のもと事業展開をしている。